

# 12月定例会 新政クラブ会派 一般質問要旨

高島市議会 3月定例会スケジュール(案)

2月24日(木) 10:00	【本会議】第1回臨時会開会
28日(月) 10:00	【本会議】3月定例会開会
3月 9日(水) 10:00	【本会議】一般質問(会派代表)
11日(金) 10:00	【本会議】一般質問(個人)
14日(月) 10:00	【本会議】一般質問(個人)
15日(火) 10:00	予算常任委員会 NO.2議案
16日(水) 10:00	予算常任委員会 NO.2議案
17日(木) 10:00	予算常任委員会 NO.2議案
28日(月) 10:00	【本会議】3月定例会最終日



### 融雪剤の使用制限は 出来ないのか

宮内 英明

**Q** 冬期積雪対策に融雪剤の使用が有効な手段の一助に使用されていますが、最近の調査でコンクリートの耐久性増強剤と融雪剤に含まれる有機物が反応し道路、橋などの劣化を引き起こす事が学会誌で発表されました。今後老朽化の判定を受けるケースが増加すると思いますが管理者として対策と融雪剤の使用制限などの使用指導について伺います。

**A** 管理者としての老朽化の対策については、平成23年度から平成25年度の間で橋梁の点検や修繕計画の策定を行う橋梁長寿化修繕事業を計画しております。融雪剤の使用制限などの使用指導については、市に置ける

除雪作業につきましては、機械除雪や消雪施設でおこなっていることから、融雪剤の使用につきましては、朽木地域などの急勾配の道路や橋梁など凍結が予想される場所を散布しており、過去3年間の平均使用量は約6トン程度となっております。今後におきましては、道路管理者としては、車の安全な走行の確保は当然のことながら、気象状況などを参考にして、出来るだけ融雪剤の散布を少なくする方向で対応してまいりたいと考えております。「尚、本市内国道県道で融雪剤の使用量は約六百トン使用されているところであり、」

• その他の質問  
。基地交付金の減額について伺う。  
。地域の要望書の扱いと回答について。原発事故に備えた防災訓練について伺う。



### 職員のマナーについて

万木 豊

**Q** 早期の横断歩道に人がいるにも関わらず、一旦停止して頂けない。法令を順守して頂きたいものです。

**A** 庁内交通安全委員会を設置し、運転マナーの向上に取り組みます。

**Q** 窓口の対応 本庁はじめ、全体的には丁寧な対応がされていると思えますが、本庁以外の、支所、市関連施設での職員の対応はどうでしょうか？

**A** 支所等における不適切な対応の苦情もあるため、所属長を中心に好感の持てる接遇を指導します。

**Q** 挨拶は明るい職場の基本、こちらも併せて伺います。

**A** まず挨拶から徹底し、親切で丁寧な対応に努めます。

• その他の質問  
。当市のスポーツ振興について



### 公立高島総合病院の あり方について

秋永安次

**Q** 平成23年度より公営企業法の全部適用を導入されるわけですが、管理者の任命、内部組織の設置、職員の任免、給与、労働協定の締結等の現状はどうか。平成24年4月より高島市民病院として生まれかわるわけですが、高度医療から救急医療、更に在宅医療まで医療の実践が必要と考えますが現在の環境は整っているか。

**A** 全部適用は、機動性や迅速性が今以上に発揮できる病院を目指し準備しています。また、地域の中核病院は、役割を認識し、救急医療、災害医療をはじめとする一定水準の医療が提供できる医療の担い手の確保、全体的な体制強化に努めます。

• その他の質問  
。有害鳥獣対策について。  
。ジェネリック医薬品の推奨を



### 指定管理者の選定について

橋本 恒夫

23年3月末日で指定が切れる施設の指定管理者の指定議案の中で、びわ湖高島観光協会と高島市商工会は、今回の選定からはずれました。その理由の主なもの、●民間の本業に精励すべきである、●民間のノウハウを備えた斬新なアイデアと市に対して多くの納付金を提案した業者を選定したという見解ですが、以下の点について問います。

**Q** 公募申請時における応募団体への指導状況は。

**A** ひろく公募し、制限や指導は一切していません。

**Q** 選定委員会の結果と異なるが今後、委員会の適正かつ慎重な評

価が出来るか。

**A** 選定委員の各位には「審査結果が必ずしも市の決定とならない場合があること」を申し立て、問題ないと考えています。

**Q** 観光協会・商工会の存続に対する市の方針は。

**A** 観光協会が将来展望を定め、経営改革される中で必要な支援をします。商工会には、地域商工業者の皆様への指導と、一定の財政支援を行っていきます。

**Q** 新たな職員の継続雇用について調整を行います。商工会に対しても必要な支援を行います。

• その他の質問  
。危険地域に置ける急傾斜地対策について



### 市民協働・職員力・全国 学力テストについて

前川 勉

**Q** 高島市協働事業提案制度の応募状況や選考された者との協働に対する考え方、選考漏れ応募者への今後の対応や市民協働を中間支援する「たかしま市民協働交流センター」との関連などを尋ねました。

**A** 短期の募集期間だったが、二十件の応募で六件を採用。来年度事業実施に向け担当局と協議調整。一方、選外者へは、担当部局やたかしま市民協働交流センターがアフターケアしていくとの回答でした。

**Q** 市政実行の市職員は、「職員力」を高めてものごとに当たってもらいたいことから職員力向上の方策や人事異動の考え方、専門研修受講などについて尋ねました。

**A** 「自ら考え行動する自立型職員」をめざす職員のスキルアップが、行政のプロとしての意識醸成につながり、市民ニーズに適切に対応できるように。また、専

門研修は、積極的に計画性を持っての受講により資質の向上をはかり、適材適所の人事配置により職員力が発揮でき、職員がプロ意識を持って、市民の方々に頼りがいを感じただけでなく、進んでいくとの回答でした。

**Q** 今年の全国学力テストは、抽出校と自主参加校での受験となりましたが、試験結果からの課題やその活かし方について尋ねました。

**A** 全児童生徒の約78%が受験し、小学校ではおおむね全国レベルの学力であるが、中学校では全国レベルに近い学力であり、家庭での計画的な学習や予習・復習、苦手を教科克服の学習が不十分との結果から、「学力向上アクションプラン」やきめ細かな指導など全教職員が児童生徒の学力向上に努めるとの回答でありました。



### 地場産業振興センターの 活用について

梅村 彦一

当センターは滋賀県で唯一の施設であり営利を目的としない公益法人として県知事の許可を受けている財団法人ですが、ここ数年運営実態は非常に厳しい内容となっております。当センターの主力収入は貸館収入ですが平成18年度と21年度と比較しますと約半分近くまで激減しています。その原因は何故か、リーマンショックの影響もあるかも知れませんが、公の施設の無料化もその一つではないでしょうか。三期連続の大幅な赤字決算となり、もはやあの大きな施設をセンター独自の運営は無理ではないか、私は改めて、市の事業全般にわたる振興拠点施設として有効活用が図れないか提案します。

• その他の質問  
。高島市制五周年記念事業について



### 高島市のグランドデザイン について

廣本 昌久

**Q** 高島市のグランドデザインは、来年が中間の見直し年となりますが、西川市政の展望と共に、具体的な施策は如何か。

**A** 市が目指す将来像はあくまでも総合計画の基本構想であり、その実現に向けて後期基本計画の見直しを現在進めています。

**Q** 高島市のグランドデザインとなる土地利用計画と、都市計画マスタープランとの整合性及び、高島市総合計画との関連性は如何か。

**A** 都市計画マスタープランについては、上位計画である総合計画に基づき、土地利用調整計画との整合を図りながら策定作業を進めています。

**Q** 合併後、市内の町並みも随分と様変わりし、現状認識を踏まえた見直しが必要だが如何か。

**A** 用途地域の拡大や変更を要する事由が生じた場合は、地域住民の理解を得ながら柔軟に対応することといたします。

